

## 草木のどこで染める？



## 布の素材・染液を煮出す回数による色のちがい

布の素材（麻、木綿、絹）による染まる色の違い、また何回煮出した染液かによる違いをソヨゴ（葉）を染材として見てみました。その結果、今回は、一度煮出した染液を1週間ほど置いた3番染、4番染の、特に絹の布が最も色濃く染まりました。

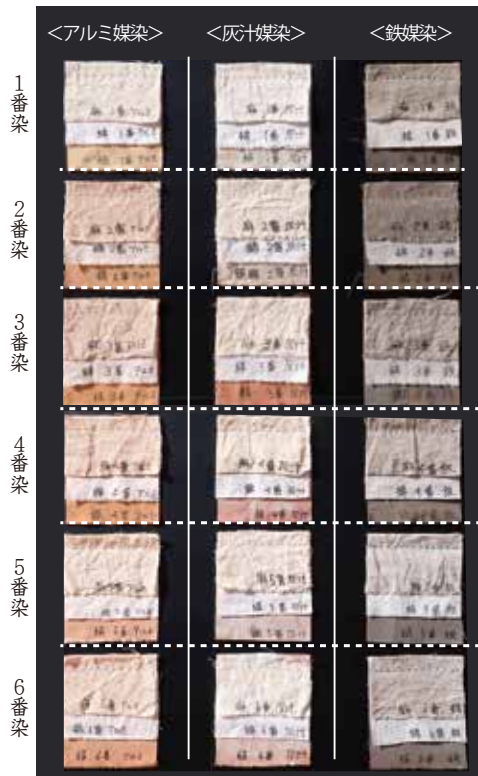
### ▼布の素材による色の違い

1週間置いた3・4番染液（合わせたもの）で染め、灰汁媒染したもの



←麻  
←綿  
←絹

### ▼染液作成当日に染めた布



※どの布にも膿染処理はしていない

1番染とは染材を水から煮出した染液をいい、その染液を捨て、新たに水を足して煮出した染液を2番染、その染液を捨て、さらに水を足して煮出した染液を3番染…と呼んでいます。

### ▼染液を1週間置いてから染めた布



1週間置いた  
2番染

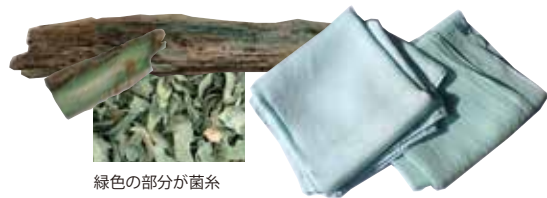
1週間置いた  
3と4番染  
を合わせた

1週間置いた  
5と6番染  
を合わせた

7番染

## きのこ染

くち木を分解するきのこロクショウグサレキンを使って絹を染めてみました。

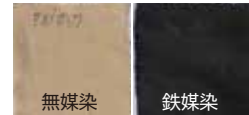


緑色の部分が菌糸

※キノコ染めの染色手順は本号に記載のものとは大きく異なります

## 泥染

泥に含まれる金属成分を媒染に使用します。アカメガシワで染めた布を、園内の水辺・湿地の泥を使って媒染してみました。



落葉が厚く堆積する止水(湿地)の泥

流水環境(浅い水辺)の泥

粘土質(湿地)の泥



無媒染

鉄媒染

## 木工体験館

気軽に木工を楽しむことができます。工具はそろっているので、手ぶらでお立ち寄りください。

■木工：金・土・日

■開館時間：9:00～16:30 初回利用時に「初心者利用講習」受講が必要です。

■休館日：月・火・水と年末年始（12/29～1/3）

■問合せ：☎ 053-583-1559

Shizuoka Pre.Forest Park

静岡県立森林公園季刊誌

ムササビだより



静岡県立森林公園

〒434-0002 浜松市浜名区尾野 2597-7

☎053-583-0443 FAX 053-583-2700

http://kenritsu-shinrinkouen.jp/



2024

秋



静岡県立森林公園 その2

草木染の色は、種ごとに染まる色調に傾向はあるものの、チューブから出す絵の具のように、いつも同じ色になるとは限りません。染液を煮出す時間や染めるものの素材・下処理方法、媒染の種類によって異なるのはもちろんのこと、植物を集める時期によっても色に違いが出るとも言われます。

とても穏やかな  
森の調和がうまれました



梔子  
くちなし



子耐草  
こぶなぐさ



米利堅刈萱  
めりけんかるかや



鬼田平子  
おにたびらこ



蓬  
よもぎ



落ふき



臭木くさぎ



裏白うらじろ



姫楮ひめこうぞ



矢筈豌豆  
やはずえんどう



茜あかね



黄花秋桜  
きばなこすもす



一つ葉  
ひとつば



酸葉  
すいば



赤芽櫛  
あかめがしわ



梔子

*Gardenia jasminoides*  
 アカネ科クチナシ属　クチナシ

■染材：実。鮮やかで赤味のある辛子色に染まる。カロチノイド系の色素。栗さんどんや沢庵の着色に用いられてきた。

■常緑低木。果実が開かないので口無。花は芳香がある。オオスカシバという蛾の幼虫が葉を食べる。

アルミ媒染（豆）鉄媒染（豆）



落

*Petasites japonicus*  
 キク科フキ属　フキ

■染材：葉。4月中旬頃の葉と茎を使用した。ページュ色に染まった。

■多年草。地下茎で増え、群落をつくる。雌雄異株。筒状花のみ。雄株の花は黄色つばく、雌株の花は白つばい。新芽と葉柄は食用となる。

アルミ媒染（柔）鉄媒染（豆）



茜

*Rubia argyi*  
 アカネ科アカネ属　アカネ

■染材：根。夕焼け色に染まる。日本最初の国旗（日の丸）は「筑前茜染」で染められた。何回も染め重ね濃い色にする。

■つる性多年草。根が赤いことから「赤根」と呼ばれる。園内では各所でみられる。

アルミ媒染（豆）



●染めた布 < 綿 100% >  
 布は事前に濃染処理（水に浸しておいた布を、豆乳または柔軟剤を水で解いた液に浸す）。

（豆）：市販の無調整豆乳で濃染処理  
 （柔）：市販の柔軟剤で濃染処理

●布の重さと同量の重さの染材を使用

■染材：植物のどの部分を染めに使用したかを記載

< 染めの工程 >　実施した基本的な手順は次の通り。

- ①　染材を水から火にかけ、沸騰後 20 分以上煮出す。
- ②　濃染処理した布を染液に入れ弱火で煮る（20 分程度）。
- ③　媒染剤（アルミ・灰汁・鉄）に浸ける（10～20 分程度）。
- ④　水洗いして乾かす。

①～④を基本の手順としたが、染まり具合により、②～③を繰り返し染めた。

子鮎草

*Arthraxon hispidus* Mak.  
 イネ科コブナグサ属　コブナグサ

■染材：全草。ハ丈刈安とも呼ばれる（ハ丈島の黄ハ丈は本種で染めたもの）。カリヤスとも言うが、奈良時代から染料とされてきた「カリヤス（イネ科スキ属）」とは別種。

■1年草。葉は鮎のような形で茎を抱くのが特徴。

アルミ媒染（豆）鉄媒染（豆）



臭木

*Clerodendrum trichotomum*  
 シン科クサギ属　クサギ

■染材：実。えんじ色の萼を除き、実だけを使用した。無媒染でも鮮やかな水色（縹色）に染まる。古来から実は染料とされてきた。

■落葉小高木。花は芳香でアゲハチョウ類を呼ぶ。葉はもむと胡麻和えのような匂いがする。

無媒染（柔）鉄媒染（柔）



裏白

*Gleichenia japonica*  
 ウラボシ科ウラボシ属　ウラボシ

■染材：全草。11 月の葉を使用した。淡いページュに染まった。

■常緑性のシダ。園内で最もよく見られる大型のシダ。一対の羽片の付け根に毎年新芽ができ生長する。大きな群落をつくる。正月飾りに使われる。

灰汁媒染（柔）アルミ媒染（柔）



一つ葉

*Pyrrosia lingua*  
 ウラボシ科ヒトツバ属　ヒトツバ

■染材：葉。煮出すと染液に淡褐色の毛が多数浮いた。赤味強めの茶色に染まった。

■常緑性シダ。単葉。乾燥に強い。園内では地面から露出した岩の上などで根茎を長く這い、群生する。葉裏には星状毛が密生する。葉は2形で胞子葉のほうが細長い。

灰汁媒染（柔）鉄媒染（豆）



鬼田平子

*Youngia japonica*  
 キク科オニタビラコ属　オニタビラコ

■染材：花付きの全草。淡い黄色に染まった。

■1年草・越年草。管理道沿いなど陽当たりの良い場所で一年中見られる。頭花は直径7～8ミリでコオニタビラコより小さい。茎や葉を切ると白い汁が出る。白い冠毛がそう果にある。

アルミ媒染（柔）鉄媒染（柔）



姫楮

*Broussonetia kazinoki*  
 クワ科コウゾノ属　ヒメコウゾ

■染材：葉。11 月の葉を使用。淡いページュに染まった。

■落葉低木。雌雄同株。実は甘い、口当たりが悪い。紙の原料にするコウゾはヒメコウゾとカジノキの交雑種。葉痕が隆起し枝に密着する三角形の冬芽が特徴。

灰汁媒染（柔）アルミ媒染（柔）



酸葉

*Rumex acetosa*  
 タデ科スイバ属　スイバ

■染材：5 月の全草を使用。淡いページュに染まった。

■多年草。雌雄異株。雄花は風で花粉を大量に飛ばす。雌しべは赤い房状の柱頭を持つ。実は翼があり風散布。茎や葉に酸の一種、シュウ酸を含む。

アルミ媒染（豆）鉄媒染（豆）



黄花秋桜

*Cosmos sulphureus*  
 キク科コスモス属　キバナコスモス

■染材：花卉。花卉のみを集めて使用した。花卉の色を彷彿とさせるオレンジ味のある色が出た。鉄媒染も柔らかい印象のグレーとなった。

■メキシコ原産。大正時代に観賞用に持ち込まれた。

アルミ媒染（豆）鉄媒染（豆）



蓬

*Artemisia indica* var. *maximowiczii*  
 キク科ヨモギ属　ヨモギ

■染材：全草。4 月初旬の葉を使用した。しっかり黄色味のあるカーキ色に染まった。

■多年草。舌状花は無く、筒状花が集まって下向きにつく。風媒花。葉に芳香がある。葉はヨモギ餅、葉裏の綿毛は、もぐさに利用される。

アルミ媒染（柔）鉄媒染（豆）



矢筈豌豆

*Vicia sativa* subsp. *nigra*  
 マメ科ソラマメ属　ヤハズエンドウ

■染材：全草。4 月上旬の葉と花を使用。淡いオリーブ色に染まった。

■つる性2年草。別名カラスノエンドウ。托葉の蜜腺にアリが来る。黒く熟した豆果は、鞘が弾け種子が飛ぶ。葉は偶数羽状複葉で先端は巻きひげになっている。

アルミ媒染（豆）鉄媒染（豆）



赤芽櫨

*Mallotus japonicus*  
 トウダイグサ科アカメガシワ属　アカメガシワ

■染材：枝。2 月の枝を使用した。アルミ媒染は明るいページュ、鉄媒染は紫味のあるシックなグレーに染まった。万葉の時代から黒の染料（鉄媒染）とされてきた。

■落葉高木。新芽が赤い。雌雄別株。花に花弁はない。葉は食器代わりに使用された。

アルミ媒染（豆）鉄媒染（豆）



米利堅刈萱

*Andropogon virginicus*  
 イネ科メリケンカルカヤ属　メリケンカルカヤ

■染材：全草。とても鮮やかな黄色に染まる。

■多年草。北米原産。園内各所に見られる。葉鞘は扁平で明確な竜骨がある。鞘状の総苞から長白毛が見えるのが特徴。葉腋の白い穂は風に乗りよく飛ぶ。

アルミ媒染（豆）鉄媒染（豆）

